

いつも市民の目線で!!

“山さんのホームページ”

www.k-yamasan.com

寝屋川市議会議員

山崎 きくお



平成17年11月号 (第29号) — 毎月発行 —

山さんのプロフィール



姓 名 山崎 菊雄 (やまさき きくお)
 昭和24年 富山県氷見市に生れる
 昭和47年～ 寝屋川市に在住
 昭和48年 関西大学法学部卒業
 元・守口市役所職員
 元・若葉町自治会長
 元・池田校区福祉委員長
 元・二中地区社明委員長
 平成15年 寝屋川市議会議員に初当選
 現 在 『市民派クラブ議員団』幹事長
 文教常任委員会委員
 東部大阪治水対策促進協委員

避けて通れない 議員定数・報酬の見直し

最近、よく市民の皆さんから「市会議員の数が多すぎる」、「議員の報酬が高すぎる」という声を聞くようになりました。

の削減や職員給与・退職金の見直し、業務の民間委託などの行財政改革を積極的に実施してきました。

積極的な行財政改革

市では、これまで厳しい財政状況の中で、事務・事業の見直しを行い、職員数

二度にわたる議員定数の削減(平成九年2名減、平成一四年2名減)や費用弁償

議会での取り組みは?

一方議会でも、これまで

の見直しなどを行なってきました。しかし、なかなか市民の皆さんの理解を得られていないのが現状です。

議員報酬の見直し必要か

「議員定数」については、全国的に見ても決して多いとは言えませんが、「議員報酬」については、他市と比較して、一度見直す必要があるようです。

決算審査特別委員会 一六年度決算の一部に反対

一〇月一七日～二〇日まで

の4日間、決算審査特別委員会が開催され、平成一六年度的一般会計・特別会計合せて一〇会計の決算を審査しました。

そして最終日に、山さんは市民派クラブ議員団を代表して、一般会計について反対の討論をしました。

〈反対討論の骨子〉

市長は市政運営方針の中で「市民との協働」を掲げておきながら、二つの小学校の廃校と廃プラ施設組合の設立・運営にあたっては、多くの市民の声を無視して、強引に事業を行なった。このようなやり方は絶対に認めることはできない。

人口区分別に見た議員定数の平均

人口区分	市数	地方自治法上の上限	条例定数
20～30万人	40市	38人	34.85人
寝屋川市		38人	32.00人

人口区分別に見た議員報酬等の平均月額
(単位:万円)

人口区分	市数	議長	副議長	議員
20～30万人	40市	69.1	62.3	56.7
寝屋川市		75.0	71.0	66.5

全国市議会議長会調べ(平成16年12月31日現在)

寝屋川市議会議員 山崎 きくお 事務所

〒572-0031 寝屋川市若葉町34番10号

Tel/Fax=072-829-1900 E-mail=office@k-yamasan.com

大きな声で、元気なあいさつ!!
山さんのあいさつ運動

山さんの議員活動

10月の活動記録

1日(土)～14日(金)

山さんのホームページ地域配布

1日(土) 打上保育園運動会

〃 関大校友会交野支部総会

〃 衆議院選挙個人演説会

2日(日) 池田小学校運動会

〃 桜小学校運動会

3日(月)～14日(金)

山さんのホームページ駅頭配布

4日(火) 市民派クラブ会派会議

5日(水) 会派行政視察(北海道江別市)

6日(木) 会派行政視察(北海道ニセコ町)

7日(金) 会派行政視察(北海道札幌市)

9日(日) 池田幼稚園運動会

12日(水) 市民派クラブ決算勉強会

〃 ライオンズクラブ理事会・例会

13日(木) 市民派クラブ決算勉強会

14日(金) 国際平和ポスター作品展示

〃 みんなのまち条例市民懇談会

15日(土) 友好都市市民訪問団説明会

〃 ボーイスカウト寝屋川第3団委員会

16日(日) 若葉町自治会日帰りバスツアー

17日(月) 決算審査特別委員会(1日目)

18日(火) 決算審査特別委員会(2日目)

19日(水) 決算審査特別委員会(3日目)

20日(木) 決算審査特別委員会(4日目)

21日(金) 議会だより編集委員会

22日(土) 第9回山さんのミニ市政報告会

23日(日) ねやがわクリーンロード

〃 市民交響楽団第1回定期演奏会

24日(月) 近畿地区治水大会(橿原市)

26日(水) 枚方市・寝屋川市合同防災訓練

27日(木) 二中社明運営委員研修会

28日(金) 友好都市市民訪問団説明会

30日(日) あいラブ寝屋川よしゃこい祭

31日(月) 議員OB会(会派幹事長として出席)

月・木は駅頭で「山さんのあいさつ運動」

その他の日は、早朝、地域の清掃活動

市では、行財政改革の一環として、来年4月から市営葬儀を廃止することを検討しています。

寝屋川市の市営葬儀は、昭和二九年から行なわれているもので、現在では年間約四〇〇件の利用があります。

しかし、市直営で行なわれているため、職員の人件費を含め年間約七二〇〇万円（一

【行財政改革第2期実施計画】

市営葬儀の見直しを検討

件あたり約一八万円)の費用がかかっています。

一方、市営葬儀の利用料金は、特級(大人〓一〇万円)一級(大人〓五万円)です。

民間の指定葬儀に移行

そこで市では、来年三月末で市営葬儀を廃止して、市に登録した民間業者が行なう一

指定葬儀」に移行することを検討しています。

検討案によると、「指定葬儀」の内容は、今まで通り受付は市役所が行い、民間業者は市が指定した内容の葬儀(できるだけ低価格で)を行なうこととなります。

市では、条例案を近く議会に提案したいとしています。

寝屋川市民オーケストラが誕生

今年一月、寝屋川市で初めてのオーケストラ「寝屋川市

民管弦楽団」が結成され、さる一〇月二三日、市民会館大ホールで、『第1回定期演奏会』が開催されました。

音楽監督・指揮者は、朝倉洋(大阪国際大学短期大学部教授)先生で、団員は、寝屋川室内合奏団や木管アンサンブルのメンバーに公募の団員を加え、約五〇名で構成されています。

市も文化・芸術振興の観点から、練習場所の提供や楽器の購入など積極的なバックアップを行なっています。

第10回・山さんの ミニ市政報告会

〇とき 11月26日(土)
午後7時30分～
〇ところ 池田川自治会集会所
(池田3丁目)

◎ どなたでも お気軽にご参加
ください!

